

報道関係各位



2009年12月3日

ワイヤレスパワーコンソーシアムに大手テクノロジー企業が加盟 「Qi」規格の国際的普及を加速

**相互運用試験の第2ラウンドを無事に終了し、
コンシューマ機器用の「Qi」受信装置¹がロイヤリティ無償となることを発表**

ワイヤレスパワーコンソーシアム(以下「WPC」)は、業界賞を受賞した BlackBerry®スマートフォン製品群でワイヤレス通信業界をリードする Research In Motion(RIM)、世界最大級の一次電池やバッテリー電源機器、懐中電灯メーカーである Energizer など、新たに7社の加盟を発表しました。WPCは、10月27~28日に行われた加盟企業の相互運用試験で、プロトタイプテストの第2ラウンドを無事に終了したことも発表しました。

WPCメンバーは、現在、大手機器メーカー、エレクトロニクスメーカーなど21社にのぼります。RIMと Energizer 以外の新規メンバーは、デジタル機器用アクセサリ会社の case-mate、世界的な自動車サプライヤーの Continental Automotive、韓国のバッテリーメーカーの Hanrim Postech、台湾の OEM/ODM 専門メーカーの Logah Technology、コンシューマ市場向け半導体メーカーのローム株式会社です。

ConvenientPower Limited 社長で WPC プロモーション委員会のキャミール・タン共同議長は、「相互運用試験第2ラウンドの成功と、コンシューマ機器の Qi 受信装置がロイヤリティ無償¹になるという知らせは、機器メーカーにとって無接点充電機能を多様な量産製品に組み込む上で魅力的なものとなるでしょう。また、メーカーが製品ロードマップを計画する上でも、予測の可能性と透明性を提供することになります」と語っています。

さらにタン共同議長は、「WPCは、大部分のバッテリー電源のモバイル機器およびバッテリー自体に無接点充電機能が組み込まれることを期待しています。有線接続に USB 規格が普及したように、無接点充電に Qi 規格が普及することを望みます」と述べています。

WIRELESS POWER CONSORTIUM

PCの新メンバーは、Qi国際規格を支持する機会を歓迎しています。

case-mate:

case-mate社の最高経営責任者である Shashi Reddy氏は、「我々は、WPCのメンバーになったことを大変誇りに思います。また、環境を意識し、生活を一変させる無線ソリューションを立ち上げることで、無接点充電技術の急速な普及に参画していきます」と語っています。

Continental Automotive:

Continental Automotive社のシニアイノベーションプロジェクトマネージャーである Bruno Albesa氏は、「Continental Automotiveは、革新に取り組んでおり、無接点充電の国際規格を支持し、この新技術を自動車に組み込むことをうれしく思います」と述べています。

Energizer:

Energizer社の最高マーケティング責任者の Jeff Ziminskiは、「ワイヤレスパワーコンソーシアムに当社が加入することは素晴らしいことです。Qi規格の開発は、全てのハイテク携帯機器のための便利なワイヤレス電源に対する消費者の需要を満たす機会を提供してくれます」と語っています。

Hanrim Postech:

Hanrim Postech社の最高技術責任者である Yoon-Sang Kook博士は、次のように述べています。「WPCの新メンバーとして、無接点充電の国際規格普及を支持することができ、大変うれしく思います。無接点充電は、消費者の生活を変える多大な可能性を持った画期的な技術です。無接点充電はまだ初期段階にありますが、いずれは世界のどこにも配線がなくなることでしょう。」

Logah Technology:

Logah Technology社の新製品担当ディレクターである Bob Ho氏は、「無接点充電の国際規格確立を目標にすることができ、大変喜ばしく思います。これにより、多くの電子機器に無接点充電技術が急速に普及することでしょう」とコメントしています。

Research In Motion:

Research In Motion社の製品マーケティング担当バイスプレジデントである Mike McAndrews氏は、次のように述べています。「WPCに加盟し、相互運用可能な無接点充電のオープン規格を実現させるため、他社と力を合わせて活動できることをうれしく思います。また、これは必ず消費者に利益をもたらすことでしょう。」

ローム株式会社:

ローム株式会社の KTC LSI 開発本部長である持田博雄氏は、「WPCに加盟し、当社の高度な電力管理技術で電子機器の革命に貢献できることを喜ばしく思います」と語っています。

消費者調査によれば、無接点充電の国際規格は、消費者生活における需要の上位 20%にランキングされ、調査に参加した消費者の 80%以上が、所有するほぼすべての電子機器について、充電のたびに無接点充電を利用するだろうと回答しています²。WPCのQi国際規格は、どこでも使える簡単で便利な無接点充電に必要な相互運用性を実現する先駆的な取り組みです。

Qi Ψ (気)とワイヤレスパワーコンソーシアムについて

ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)は、充電式電子機器の無接点充電互換性に関する国際規格である Qi Ψ (気)の策定と普及を目的として、2008年12月17日に設立されました。現在のメンバーは、case-mate, Continental Automotive, ConvenientPower, Duracell, Energizer, Fulton Innovation, Hanrim Postech, Hosiden, Leggett & Platt, Logah Technology, National Semiconductor, Nokia, Olympus, Philips, RIM, ローム社, Samsung, Sanyo, Shenzhen Sangfei Consumer Communications, ST-Ericsson, そして Texas Instruments.です。

現在 WPC は、その活動に関心を寄せるすべての企業を新規メンバーとして迎え入れる態勢を整えています。詳細はウェブサイト www.wirelesspowerconsortium.com をご覧ください。

Qi Ψ (気)は、「チー」と発音し「生命の活力」を表しています。この「生命の活力」は、中国語では氣 气 (Qi), 日本語では気(Ki), 韓国語では기 (Gi), サンスクリット語では prana , ギリシャ語では πνεύμα として認識されています。

本件に関するお問い合わせ:

テキスト・ワンハンドレッド・ジャパン株式会社 横山、秋澤
TEL : 03-5210-1981 FAX : 03-5210-2005

¹ WPC 設立綱領および関連契約に規定された条件に基づきます。

² 調査は、Ipsos Vantis、AcuPOLL、Frost & Sullivan の 3 社が実施しました。